

ナラティブ・メディア研究会第 11 回研究会

ティエリ・グルンステンを囲んで

(使用言語: 英・仏・日 通訳あり)

東京日仏学院における今秋のイベント「読書の秋 2010 文学と文学をめぐるもの」に合わせてフランスから来日するコミックス理論家ティエリ・グルンステンを本学に迎えて討論します。

本研究会ではとくに、『マンガのシステム 2』(2011 年刊行予定)の予備的考察となる論文(T. Groensteen, "The Monstrator, the Recitant and the Shadow of the Narrator", *European Comic Art*, volume 3, number 1, spring 2010, pp.1-21.)をめぐって意見交換をします。

ティエリ・グルンステン Thierry Groensteen

フランス・ベルギーのバンド・デシネを中心としたコミックス史研究の第一人者。フランス・アングレーム在住。著書『マンガのシステム — コマはなぜ物語になるのか』(1999)の邦訳が 2009 年に青土社より刊行された。

* 上記のグルンステン論文を入手ご希望の方は、森田までご一報ください。

2010 年 10 月 14 日(木)17:30~19:00

東北大学大学院 文学研究科棟 3F 中会議室

どなたでも興味のある方の来聴を歓迎します(事前申し込み不要)

問い合わせ先 情報科学研究科 森田直子 (morita@media.is.tohoku.ac.jp)

文学研究科 森本浩一

関連イベント: 10月15日(金)15:00~17:30 情報科学研究科棟2F 中講義室にて
グルンステン氏講演会「描かれた身体 — 欧米コミックスと紙の上の俳優たち」
(仏語:通訳あり)

L'INSTITUT

協力:東京日仏学院 東京日仏学院